

木佐貫整形外科 木佐貫 修副院長

手のしびれの主な原因には神経の病気、脳の病気、内科疾患などがあります。神経の病気では頸椎の疾患により脊



髄神経が圧迫されしびれるものと、脊髄から手指への神経の通り道（末梢神経）が圧迫されしびれる手根管症候群などがあります。

手根管は手首（手関節）の骨（手指骨）と横手根靭帯で囲まれた伸び縮みのできないトンネルで、その中を1本の正中神経と9本の指を曲げる腱が通っています。手根管症候群の初期症状は人さし指と中指のしびれと痛みで、明け方に強く感じる事が多く、徐々に親指とくすり指に広がります。進行すると親指の付け根（母指球）が痩せ、つまみ動作（母指対立運動）などができなくなります。

原因不明なことが多いですが、妊娠、出産期、更年期の女性や手を酷使

教えて



放置せず、早めの受診を

きさぬき・おさむ 昭和61年順天堂大学医学部卒業、奈良県立医科大学整形外科入局。日本整形外科学会専門医、認定スポーツ医、認定リハビリテーション医。日本手外科学会専門医。医学博士。

する人、骨折、透析中の人に多くみられます。女性ホルモンの変動や手の使い過ぎ、ケガなどで手指管内圧が高まり、正中神経を圧迫して発症します。

治療はビタミン剤の内服や炎症を抑える注射、装具による安静保持などの保存療法を行い、改善しない場合や、もともと進行している場合は手術を行います。手術は腕だけの麻酔で可能です、日帰りで行っている施設もあり、創（きず）もごくわずかで済みます。近年は内視鏡による手術も行われています。しびれたまま放置しておく、神経の圧迫が続く、治療をしても戻らない場合もあります。

手のしびれに気付いたら早めに整形外科専門医で診てもらいましょう。

手のしびれ